

第一号議案

平成26年度 定款に沿った事業計画 平成26年4月1日～平成27年3月31日

公益社団法人東京都山岳連盟

1. 登山道徳の啓発および普及(定款第4条第1号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備 考
スポーツ指導者総会兼研修会	スポーツ指導者資格更新のための義務研	7月、27年2月	70名	指導委員会
スポーツ指導者向け都岳連通信発送	都岳連通信年間2回発送	5月(3, 4号) 7月(1, 2号)		指導委員会
日本山岳協会・中高年安全登山指導者講習会	青森県で実施 3名参加予定	9月	3名	指導委員会
少年少女登山教室	日山協より委託開催	11月	8名	指導委員会
日本山岳協会・指導委員総会	全国都道府県指導委員長参加の総会	6月	1名	指導委員会

2. 登山技術の普及(定款第4条第2号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備 考
トレッキングスクールの実施	主に登山の初心者むけて、実地での登山を通じて、安全な登山の啓蒙をはかる。	春、夏、秋、冬	180名	安全登山教室委員会
沢登り教室の実施	沢登りに必要な、基礎知識の習得、実践を通じた基礎技術の習得をはかる。	6月～8月 机上 6回 実技 5回	12名	安全登山教室委員会
岩登り教室の実施	岩登り、とりわけアルパインにおけるマルチピッチクライミングの基礎段階の習得をめざす。	6月～8月 机上 6回 実技 5回	25名	安全登山教室委員会
雪山教室の実施	雪山登山に必要な、基礎知識の習得、実践を通じた基礎技術の習得をはかる。	H25～H26・4 机上6回 実技5回	48名	安全登山教室委員会
外部団体への講師派遣	(公社)東京都山岳連盟への講師の派遣の依頼にたいして、指導員・上級指導員の派遣をおこなう。	深川SC 加盟団体講師派遣講習会等	未定	安全登山教室委員会
岩登り基礎技術講習会	確保指導技術、十二ヶ岳。	10月9日 10月18～19日	15名	指導委員会
雪上技術基礎講習会	1月に谷川岳で実施。最少催行人員6名。	H26年1月	8名	指導委員会
安全登山実践講座現地調査	日山協よりの委託で主管するが本年度が初めての実施。(5月)4名 x 2回	5月	8名	指導委員会
安全登山実践講座	日山協よりの委託で主管。(机上2回、実技2回)最小催行10名	未定	10名 (最少催行人数)	指導委員会
日山協・中高年安全登山指導者講習会現地調査	H27年度は東京が当番のため、現地調査を行う(6月～7月) 4名x2回	6月～7月	8名	指導委員会
日本山岳耐久レース委員会安全走行講習会	全6回により、安全にトレイルランニングを楽しむ技術や他者、自然との共存のためのマナーを身につける。	5月～9月		山岳耐久レース実行委員会

競技力向上事業	年間を通じ、国体選手育成、強化のための事業			競技委員会
ジュニア特別強化事業	将来の国体選手の発掘、育成のための強化事業			競技委員会

3. 山岳遭難の予防と遭難対策(定款第4条第3号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備 考
山の天気入門講座	安全登山に必要な山岳気象の基礎講座	4月～12月 9日間	20名	気象委員会
地上天気図の書き方講習会	ラジオ放送、その他メディアから得た情報を基に天気図を描く技術の習得講座	5月 1日間	20名	気象委員会
天気図の見方講習会	地上天気図、高層天気図等、安全登山に必要な天気図の読み方講習会	6月～7月 3日間	30名	気象委員会
秋の観天望気講習会	天気予報に頼らず、空や雲、周囲の様子を見て天気を予報する技術を学ぶ講習会	9月～10月 2日間	30名	気象委員会
冬山の気象講習会	気象変化の激しい日本の冬山で遭難しないための山岳冬季気象情報を学ぶ講習会	11月	60名	気象委員会
委員研修会1	気象委員会専門委員の研修会ー1	10月	15名	気象委員会
委員研修会2	気象委員会専門委員の研修会ー2	2月～3月	5名	気象委員会
冬山の気象データ収集	加盟団体等を通して実際に登山した冬山の気象状況を収集し、分析し、広く登山者の冬山の安全登山に資する情報を公開する。	1月～3月		気象委員会
山のセルフレスキュー講習会「岩場のセルフレスキュー」	岩場のセルフレスキューに必要なロープワークの講習会	5月開催	16名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「山の救急法」	山の事故に遭遇した時の救急法の講習会	6月開催	16名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「冬山のセルフレスキュー」	雪崩への対処と冬山搬送に必要な技術の講習会	H27年2月開催	20名	遭難対策委員会
安全登山講座「山で遭難しないために」	ハイカー・縦走者向けの読図・ロープワーク・ビバーク法等の講習会	11月開催	15名	遭難対策委員会
ワンポイント講座「ロープワーク」	ハイカー・縦走者向けとクライマー向けのロープワークの講習会 平成26年4月開催 受講者20名	4月開催	20名	遭難対策委員会
ワンポイント講座「テーピング」	山で多い足首捻挫のテーピング講習会	7月開催	20名	遭難対策委員会
ワンポイント講座「冬山搬送法」	冬山で使用するツェルト搬送の講習会	H27年1月	20名	遭難対策委員会
救助隊研修(春)	低山山岳救助技術の研究および隊員の技術向上	4月	10名	救助隊
奥多摩開山祭	青梅警察主催の遭難対策キャンペーン(春)と共催	4月	10名	救助隊

谷川岳山開き	水上山岳会・谷川岳警備隊との情報交換	7月	2名	救助隊
奥多摩遭難防止活動	青梅警察主催の遭難対策キャンペーン(秋)と共催	10月	10名	救助隊
救助隊研修(秋)	岩場山岳救助技術の研究および隊員の技術向上	10月	10名	救助隊
谷川岳閉山式	水上山岳会・谷川岳警備隊との情報交換	10月	2名	救助隊
救助隊研修(夏)	高山山岳救助技術の研究および隊員の技術向上	8月	10名	救助隊
救助隊研修(冬)	冬山山岳救助技術の研究および隊員の技術向上	2月～3月	10名	救助隊
jRO講演会(年3回)	初心者対象の自救力向上を啓蒙	6月、9月、2月	各30名	救助隊

4. 山岳スポーツ競技の普及及び推進(定款第4条第4号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備 考
第6回ハセツネ30K	日本山岳耐久レース(ハセツネCUP)の入門大会として、早春の奥多摩を走り抜けてもらいたい。また、トレイルランニングの普及と、安全走行の啓発、自然保護の精神の高揚にも寄与する。	4月13日	1500名	山岳耐久レース実行委員会
第22回日本山岳耐久レース	美しい奥多摩の自然の中で、自己の限界に挑戦し、強い身体を鍛えていく『日本山岳耐久レース』により、健全なる心身を育む。	10月12～13日	2500名	山岳耐久レース実行委員会
競技力向上事業	年間を通じ、国体選手の強化、育成のための諸事業	通年	不定	競技委員会
ジュニア特別強化事業	将来の国体選手育成のための発掘、育成事業	通年	不定	競技委員会
スポーツクライミングボルダリング東京カップ	都岳連主催、明大和泉体育館にて開催。第69回国体予選会およびジュニア強化選手権を兼ねる大会	4月	30名	競技委員会
スポーツクライミングリード東京カップ大会	都岳連主催、東久留米SCにて開催。第69回国体予選会およびジュニア強化選手権を兼ねる大会	4月	40名	競技委員会
インターハイ東京都予選	高尾山北山稜 審判派遣	5月	150名	競技委員会
長崎国体リハーサル大会・リードジャパンカップ派遣	長崎県大村市 選手・監督・役員スタッフ派遣	6月	8名	競技委員会
国体関東ブロック大会 選手派遣	栃木県 選手・監督・役員スタッフ派遣	7月	12名	競技委員会
JOCジュニアオリンピック	富山県 選手・監督・役員スタッフ派遣	8月	10名	競技委員会
第69回長崎国体派遣	長崎県大村市 選手・監督・役員スタッフ派遣	10月	15名	競技委員会
ワールドカップ印西派遣	千葉県印西市 選手派遣	10月	7名	競技委員会

関東地区クライミング競技会	神奈川県 選手・監督・役員スタッフ派遣	11月	12名	競技委員会
第5回全国高校生選抜クライミング大会選手派遣	埼玉県加須市 選手・監督・役員スタッフ派遣	12月	8名	競技委員会
日本クライミング選手権選手派遣	東京都東久留米市 選手・監督・役員スタッフ派遣	平成27年1月	6名	競技委員会
ボルダリングジャパンカップ選手派遣	静岡県 選手・監督・役員スタッフ派遣	平成27年2月	6名	競技委員会

5. 山岳指導者の育成(定款第4条第5号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備 考
山岳指導員養成講習会	(日体協資格) 8月～27年2月 8名	8月～27年2月	8名	指導委員会
山岳上級指導員養成講習会	(日体協資格) 8月～27年2月 6名	8月～27年2月	6名	指導委員会
公認リーダー研修会	(都岳連独自資格) 7月、27年2月 40名	7月、H27年2月	40名	指導委員会
山岳指導者新規認定・更新登録作業	(日体協資格)	5月、12月		指導委員会
日本山岳協会・氷雪技術研修会派遣	4月に富士山で実施	4月	1名	指導委員会
日本山岳協会・登はん技術研修会派遣	11月に岡山で実施	11月	1名	指導委員会
ビレイ講習会	クライミング競技におけるビレイヤーの育成	4月、7月、11月	20名	競技委員会

6. 登山に関する刊行物、機関誌の発刊及び映像制作(定款第4条第6号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備 考
新山のピンチ手帳	改訂版発刊、1000部	11月		出版委員会
都岳連通信発行	都岳連通信年間4回発行。登山に関する情報、安全登山啓発関連情報伝達。			出版委員会

7. 登山施設の調査及び設置 (定款第4条第7号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備 考
今年度はなし				

8. 山岳自然保護運動の推進(定款第4条第8号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備 考
グリーンフェスティバル	大会で傷ついた自然を大会前よりさらに美しくしてお返ししようとのコンセプトからグリーンフェスティバルを毎回開催する。	4月19日 10月18日	200名 200名	山岳耐久レース実行委員会

カタクリパトロール	奥多摩で数少ないカタクリ群生地保護活動と合わせ、沢水に関するアンケート、チラシ配布や携帯トイレのPR活動を通じ、山のトイレマナーの啓もう活動を行う	4月19～29日、 5月18日	100名	自然保護委員会
観察会講師育成	観察会コースを巡り、参加者に解説する植物を確認する。コース上の危険箇所チェック	5月3日・10日	20名	自然保護委員会
春の自然観察会	春の里山を歩き山野草を解説しながら、登山マナーや山岳環境保護の重要性をうたえる一般市民向け活動	5月11日	80名	自然保護委員会
クリーンハイク	世界環境デーに合わせ、登山道の清掃やゴミ袋配布を通じた登山マナーの啓もう活動	6月1日	100名	自然保護委員会
委員研修会(夏・秋)	里山の自然観察を通じて、動植物・地学等の研鑽を積み山岳環境に関する委員のスキルアップを図る	6月15日 10月19日	20名 20名	自然保護委員会
自然保護指導員実地講習会	日山協自然保護指導員資格取得のための実地講習会。里山の自然観察を通じ、指導員の心得や活動等について解説	7月6日	20名	自然保護委員会
雲取調査山行(夏・冬)	東京都の最高峰雲取山の食害等の山岳環境調査、山荘・避難小屋のトイレ利用状況調査(夏版)	7月12～13日 12月13～14日	4名 4名	自然保護委員会
指導員通信発行(秋・春)	自然保護指導員に対する情報発信、および委員会事業等の参加呼びかけ	9月30日 3月29日	300名 300名	自然保護委員会
観察会講師育成	観察会コースを巡り、参加者に解説する植物を確認する。コース上の危険箇所チェック	11月1日・8日	20名	自然保護委員会
秋の自然観察会	春の里山を歩き山野草を解説しながら、登山マナーや山岳環境保護の重要性をうたえる一般市民向け活動	11月9日	80名	自然保護委員会
日山協自然保護委員総会	各岳連との情報交換、活動報告	11月22～24日	10名	自然保護委員会
自然保護指導員机上講習会	日山協自然保護指導員資格取得および更新のための机上講習会。指導員の実際の活動に役立つ知識の研鑽	11月29日	70名	自然保護委員会
自然保護指導員認定	日山協自然保護指導員の新規(20名)・更新者(50名)の認定作業	3月	20名 50名	自然保護委員会
水質調査	御前山4ポイント・三頭山2ポイントの水質調査(11項目)、ヒトの泌尿と沢水汚染との関連を調査	3月～12月の 10か月	40名	自然保護委員会
フィールドレポートまとめ	日山協自然保護指導員からの山岳環境に関するレポートをまとめ、必要に応じ自然保護委員会HPIにアップ	通年		自然保護委員会
自然公園指導員活動報告まとめ	環境省自然公園指導員の年間活動報告をまとめ環境省に提出	平成27年4月末	21名	自然保護委員会

9. 高所登山の研究と国際交流(定款第4条第9号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
35回高所順応研究会	海拔の高い山で、生体が低酸素状態に順応することを目的とした研究	2月	50名	海外委員会